

フィンランド語文法：上級④

動作主分詞（行為者分詞）

否定分詞

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



動作主分詞と否定分詞

動作主分詞	否定分詞
pojan laulama laulu	laulamaton laulaja/laulu
少年の歌う／歌った歌	歌わない歌手/歌われない歌

- さらに動作主分詞と否定分詞が存在する。
- 動作主分詞の特徴は、分詞の主語に相当する表現をつけられること。
- 動作主分詞には現在／過去の区別はない。
- 否定分詞は「...ない」という意味をもつ分詞。
- 否定分詞には能動／受動、そして現在／過去の区別はない。



動作主分詞の作り方

- 動作主分詞の印は -ma / -mä。
- -ma / -mä は（強形）語幹につける。
 - ① kirjoittaa > kirjoitta- > kirjoittama
 - ② syödä > syö- > syömä
 - ③ kuunnella > kuuntele- > kuuntelema
 - ④ tavata > tapaa- > tapaama



動作主分詞の使い方（1）

- 動作主分詞には、主語に相当する名詞を属格の形でつけることができる（これまで学習した分詞にはつけられない）。

Kiven **kirjoittama** romaani 「キビの書いた小説」

Kiven **kirjoittanut** romaani （×）

suomeksi **kirjoitettu** romaani

「フィンランド語で書かれた小説」



動作主分詞の使い方（2）

- 主語に相当する語が人称代名詞の場合には、動作主分詞には所有接尾辞をつける。

Kiven **kirjoittama** romaani 「キビの書いた小説」

minun **kirjoittamani** romaani 「私の書いた小説」



動作主分詞の使い方 (3)

- 動作主分詞も必要に応じて格変化する。単数の語幹は -ma- / -mä-、複数の語幹は -mi-。

Pidän Kiven **kirjoittamasta** romaanista.

「私はキビの書いた小説が好きだ」

Tykkäätkö Sibeliuksen **säveltämistä** sinfonioista?

「君はシベリウスの作曲した交響曲（複数）が好きか」



動作主分詞一練習

- 動作主分詞を適切な形に直す。

Tykkään Liisan (laulama) laulusta/(laulama) lauluista.

私はLiisaの歌う歌が好きだ。

Olen kyllästynyt Pekan (soittama) kappaleisiin.

私はPekkaの演奏する曲には飽き飽きだ。

Olen tyytyväinen (saama) arvosanaan.

私は自分のもらった成績に満足だ。

Hän pitää (ostama) kännykästä.

彼女は自分の買った携帯電話が気に入っている。



動作主分詞一練習解答

- 動作主分詞を適切な形に直す。

Tykkään Liisan (**laulamasta**) laulusta/(**laulamista**) lauluista.

私はLiisaの歌う歌が好きだ。

Olen kyllästynyt Pekan (**soittamiin**) kappaleisiin.

私はPekkaの演奏する曲には飽き飽きだ。

Olen tyytyväinen (**saamaani**) arvosanaan.

私は自分のもらった成績に満足だ。

Hän pitää (**ostamastaan**) kännykästä.

彼女は自分の買った携帯電話が気に入っている。



否定分詞の作り方

- 否定分詞の印は **-maton / -mätön**。
- **-maton / -mätön** は（強形）語幹につける。
 - ① kirjoittaa > kirjoitta- > **kirjoittamaton**
 - ② syödä > syö- > **syömätön**
 - ③ kuunnella > kuuntele- > **kuuntelematon**
 - ④ tavata > tapaa- > **tapaamaton**



否定分詞の使い方（1）

- 否定分詞は「...しないような、...されないような、...できないような」といった意味を表す。

unohtumaton tapahtuma 「忘れられない出来事」

tuntematon mies 「見知らぬ男」

käsittämätön juttu 「理解できないような話」



否定分詞の使い方 (2)

- 否定分詞も格変化する単数語幹は -mattoma-/
-mättömä-, 複数語幹は -mattomi-/-mättömi-。

Se kuulostaa hyvältä. 「それはよさそうだ」

Se kuulostaa **käsittämättömältä**.

「それは理解できそうもない」



否定分詞の使い方 (3)

●語彙化した否定分詞も多い。

tuntematon 「知られていないような、無名の」

odottamaton 「予期していないような」

unohtumaton 「忘れられないような」

käsittämätön 「理解できないような」

huolimaton 「不注意な」



否定分詞一練習

- 否定分詞を適切な形に直す。

Saari näyttää (asumaton).

その島は無人のようだ。

Olen järkyttynyt isäni (odottamaton) kuolemasta.

私は父の突然の死にショックを受けている。

On paljon (ajattelamaton) ihmisiä.

考えの足りない人々もたくさんいる。

Matka Afrikan halki kuulostaa (unohtumaton) elämykseltä.

アフリカ横断の旅というのは忘れられない経験のようだ。



否定分詞一練習解答

- 否定分詞を適切な形に直す。

Saari näyttää (**asumattomalta**).

その島は無人のようだ。

Olen järkyttynyt isäni (**odottamattomasta**) kuolemasta.

私は父の突然の死にショックを受けている。

On paljon (**ajattelamattomia**) ihmisiä.

考えの足りない人々もたくさんいる。

Matka Afrikan halki kuulostaa (**unohtumattomalta**) elämykseltä.

アフリカ横断の旅というのは忘れられない経験のようだ。

